

社会的認証システム－第三者認証(ステップ3)レビューシート

団体名: 特定非営利法人NEWSD PROJECT

訪問調査日: 2014年4月16日(水)

評価大項目(分類)	評価中項目	絶対評価コメント	達成率
I. 組織ミッション(社会的使命)と事業の推進	[1]組織ミッション(社会的使命)の確立	組織ミッションは法人WEBサイトやカタログ等で多様に公開し、イベント開催時に周知している。非営利組織としての位置付けが定款・事業計画書・通常総会資料の決算報告書からも確認できる。組織ミッションを達成するための明確な基幹事業として、廃材を活用してデザイン豊かに商品化し、また、福祉事業所との連携を図る等、基幹的な取組みの状況が確認できる。	18/24 達成率 75%
	[2]組織ミッションと事業の策定	生産売上前年度対比115%を目指す等、事業継続の中期的なビジョンはあるが、計画書としては策定状況を確認できない。廃材の仕入れ先や福祉事業所等、多様な関係者と相談しながら単年度事業計画を策定し、事業が推進されている状況を聞き取ることができる。	
II. 組織と経営管理	[1]意志決定機関とガバナンス	意思決定機関として、理事会・総会の設定があるが、理事会開催のあり方に課題が見受けられる。最高意思決定機関としての総会は、適切に開催されている状況が議事録からも確認できる。運営上必要となるコンプライアンスの把握状況を聞き取ることができる。法人の経営環境は税理士である監事による内部監査が行われている。	18/33 達成率 55%
	[2]適切な財務計画と執行・管理	財務に関する中長期的な経営計画書は策定されていない。会費や廃材を活用した商品の物販、行政からの委託事業等の資金調達状況が見受けられる。有給職員は置いていない。税理士である監事のアドバイスを得ながら基本的な税制環境の把握と対応が行われている。	
	[3]職員と労働環境	有給職員を置いていないため、雇用に関する評価項目は非該当とした。	
III. 事務局の執行体制と管理	[1]組織・事務局体制の確立	会社法人との共同オフィスとして事務所機能・連絡体制は確認できるが、会社とNPOとのすみ分けに一定度の課題が見受けられる。全部事項証明書から法人の登記事項が確認でき、所轄庁への報告等、必要な手続行われている。重要な書類は事務局に保管されている状況が確認できる。	19/31 達成率 61%
	[2]会計全般	経理に関する管理規定はないが、ルールに沿った処理が行われている。経理や会計に関する専門的な対応は、税理士である監事にアドバイスを得ながら対応している状況を聞き取ることができる。	
	[3]事業を推進するための体制やルール	単年度事業計画に基づく積極的な事業の推進状況が見受けられ、ホームページの実績一覧にて活動報告が適切に行われている。月に2回の定例会議が設けられており、事業の開始や経過、進捗管理等が共有されている。	
IV. 社会資源の活用	[1]社会資源(企業/行政/市民など)の連携と活用	障害のある人の就労支援事業所「はな」や京都工芸繊維大学、リクルート等の企業や環境省等、同セクター及び他セクターとの常態的な協働状況をうかがうことができる。企業から廃材の提供を定期的に受けている状況を聞き取ることができる。	12/16 達成率 75%
V. 情報の公開と社会的信頼	[1]情報の公開	法人の情報は、ホームページや情報開示ポータルサイト「CANPAN」のデータベース、facebook等で公開が積極的になされている。ホームページの定期的な更新が行われており、メールマガジン等も配信している。	17/18 達成率 94%
	[2]第三者による評価	環境省より災害廃棄物処理アドバイザーとして承認されている。内閣府地域社会雇用創造事業(2011年度)や日本財団からの継続的な助成を受けている実績状況を確認することができる。	
VI. 組織のリスクマネジメントと社会的責任の追求	[1]組織のリスクマネジメント	管理規程はないが、重要な書類はすべて事務局にて保管している。事業実施時の保険加入対応状況等は聞き取ることができるが、リスクマネジメントに関する研修や取組みは確認できない。	11/18 達成率 61%
	[2]組織の社会的責任の追求	新しい市民社会の創造にむけた具体的な取組みは確認できないが、古いモノを活用して新たな価値と実用性を生み出す「アップサイクル」という概念の実践として秀逸な取組みと活動状況が確認できる。	
【相対評価(セルフレビュー)／総括コメント】			95/150 総合達成率 63%
<p>当法人は、廃材等がもつ特徴をデザインの視点から障害のある人たちの施設で生産可能な製品にし、環境と雇用創出のふたつの軸を基に事業を展開しています。NEWSDは、「古くなってしまったものを新たな視点で見ることで、別の新しいものとして蘇らせる」がコンセプトのアップサイクルブランドです。ネーミングは、「NEW」と「USED」を組み合わせることに由来しています。</p> <p>廃材から出てくるプロセスを明記し、すべてのアイテムに、古くなってしまった素材や捨てられてしまうはずの端材、廃材などを使用し、そのストーリーや背景(無意識の記憶)を大切にしたいアイテムを製品としてつくっています。事務局は、3人体制で各々の役割分担の中で事業を展開しています。今後は、物販事業だけではなく、廃材活用術等のコンサル事業にも成果を出したいと考えています。また、「アップサイクル」等NEWSD PROJECTの展開が社会のひとつのあり方として社会全体で捉えられていくように成長させていきたいと考えています。</p> <p>本法人は、「古くなってしまったものを新たな視点で見ることで、別の新しいものとして蘇らせる」というアップサイクルの概念を、より具体的かつ実践的な展開により、事業成果を発揮されています。また、障害のある人の雇用創出にむけて、就労継続B型支援事業所「はな」と協働して、取組みの充実化が図られています。月に2回理事が集まり、定期的にミーティングが行われている状況は確認できますが、議題によっては、理事会として定款に則った形式で開催しなければならないケースも見受けられます。また、NPO法人としては雇用者を置かず、事務所及びスタッフは会社法人との共存・共有的な状態にあるため、その棲み分けが外部からわかりやすく映る場合もあります。第三者からの支援を適切に受けるためにもNPO法人としての設えや整理を意識し、取り組まれることが望まれます。事業としては、今後ますますの活躍が期待ができますので、本社会的認証システム－第三者認証(ステップ3)において認証しました。</p>			